

# 道路トンネルの長寿命化修繕計画策定における各種マニュアル等の整備

日本工営（株） 正会員 ○沢田 陽佑  
日本工営（株） 正会員 小谷 拓

## 1. はじめに

現在、自治体等では、急速な老朽化トンネルの増加による維持管理費用の増大に対応するため、長寿命化修繕計画を策定し、その計画に基づいた計画的・戦略的な維持管理を実施している。ただし、計画を確実に実践するためには、点検、補修・補強等の各段階において、いつ・誰が・どのような対応をするのか等を明確にしたマニュアルを整備することが重要である。本稿では、長寿命化修繕計画策定において、各種マニュアルを整備し、今後の維持管理に資する検討を行った事例を報告する。

## 2. マニュアルの種類及び位置付け

マニュアルは、補修・補強マニュアル、日常点検マニュアル、素掘りトンネル維持管理マニュアルから成り立ち、点検や補修・補強の実施レベルについての内容で、長寿命化計画に基づく事業（点検・対策）を実施するためのツールとして位置付けている。

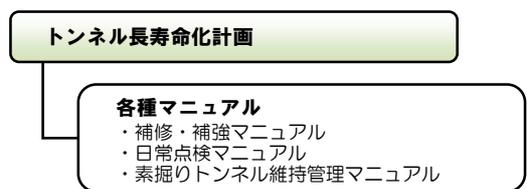


図-1 マニュアルの種類及び位置付け

## 3. 各種マニュアルについて

### 3. 1. 補修・補強マニュアル

補修・補強マニュアルは、自治体が管理する道路トンネルについて、補修・補強に関する技術資料であり、トンネルの補修・補強に関する計画、設計、施工を行う上で、補助となることを目的とする。

#### (1) 補修・補強の基本

トンネル定期点検で対策が必要と判定されたトンネルについては、補修・補強等の対策を施すことにより健全性を確保することを基本とする。

#### (2) 対象トンネルの選定

補修・補強を行う対象トンネルは、長寿命化修繕計画に基づくことを基本とする。

#### (3) 補修・補強等の記録

補修・補強等の結果を記録し、当該トンネルの供用期間中は保管しなければならない。

#### (4) 補修・補強設計

補修・補強設計においては、変状の原因を調査して対策を検討する。

#### (5) 施工

補修・補強工事は、安全性、使用性、第三者影響度等の要求性能を維持あるいは向上させるために行う。

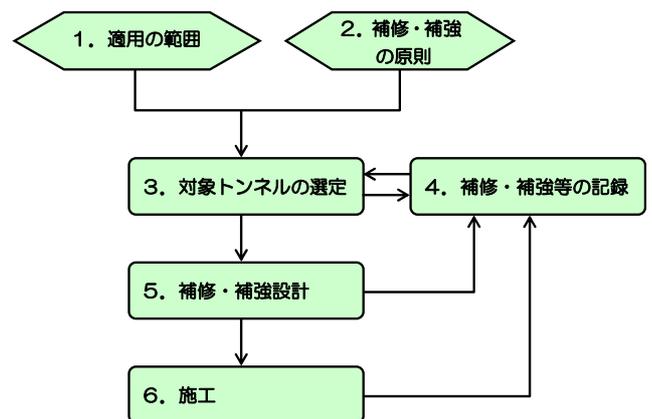


図-2 補修・補強マニュアルフロー

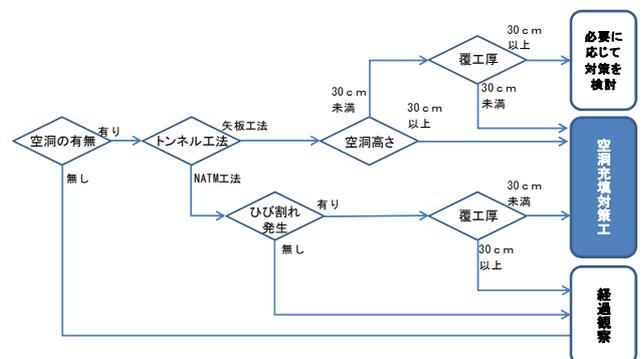


図-3 対策選定フロー例

キーワード 道路トンネル、長寿命化修繕計画、維持管理、マニュアル、補修・補強

連絡先 〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵 1-2-12 日本工営株式会社福岡支店技術第二部 TEL092-475-7552

